

令和4年度 ちゃぶ台次世代コーホート（第2回研修会）開催要項

1 趣 旨

教職希望学生と若手教員等が、主体的に意欲をもって、「教員としての資質」の深化や「教職実践課題の解決力」「省察力」の醸成を図ることを目指した協働型教職研修を行う。

特に、社会人としてのマナーやアンガーマネジメントなどに視点をあてた講話や受講生同士のピア・サポートをとおして、教員の力量形成、教育指導の拡充を図るとともに、今後の協働型教職研修や活動に対する意欲、態度や参画意識等の向上を行う。

2 主 催

山口大学教育学部「ちゃぶ台次世代コーホート事務局」

3 共 催

山口県教育委員会 山口市教育委員会

4 開催日時

令和4年11月5日（土） 13:00～17:00

5 開催場所

山口大学教育学部「21番教室」
山口市吉田1677-1 教育学部講義棟2階

6 参加者

教職志望学生、若手教員（本務教員、臨時的任用教員）、教職志望者、
教職大学院生（ストレートマスター）等

7 研修内容等

(1) 開会行事

あいさつ 山口大学教育学部 学部長 鷹岡 亮
諸連絡 受講上の注意事項等

(2) 講演

テーマ 「人間関係に活かす～アンガーマネジメント&印象アップのマナー講座～」
講 師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定
アンガーマネジメントコンサルタント 山根 美代子さん

(3) ちゃぶ台ワーク

テーマ 「ご講演を振り返る～リフレクション～」

(4) 研修のまとめ

講評 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居 輝記
あいさつ 山口大学教育学部 副学部長 中田 充

8 その他

(1) 本研修事業は、山口大学教育学部「ちゃぶ台方式教職研修部」経費より運営される



コーホート

16年目のHop! Step! Jump!

ちやぶ台次世代コーホート通信第1号
山口大学教育学部 (ちやぶ台方式教職研修部)
ちやぶ台次世代コーホート事務局
山口県山口市吉田1677-1
TEL: 083-933-5399

「Advanced course」と「Basic course」本年度最初の合同研修会

10月15日の午後、本年度初のコーホート研修会 (Advanced course第5回研修会) を、KDDI維新ホールにて開催しました。今回の研修会のテーマは、「研修開き」「コミュニケーション能力の育成」「学校づくり」。参加者は、受講生68人 (現職教員36人、学生32人)、大学教職員16人、県教委3人、講師1人、計88人でした。

「研修びらき」みんなでつながろう！ よろしくお祈りします



★活動1：自分を「もの」で例えるならば

初顔合わせでしたので、まず、自分を「もの」に例えて、30秒で自己紹介をし合いました。

★活動2：「マシュマロチャレンジ」に挑戦しよう

活動1の後では、班のメンバーで「マシュマロチャレンジ」をしました。班に配っている物は、マシュマロ1個、パスタ20本、セロテープ90cm、ハサミ1本、ひも：90cmです。4人で行うチャレンジですが、班のメンバー6人程度で行いました。日本マシュマロチャレンジ協会のホームページによると、世界記録は99cm！それを超えることを目指してみんなで協力して取り組みました。この活動は、役割分担やコミュニケーションの重要性について学んだり、複数回実施することで、「戦略」「PDCA」「イノベーション」といった要素についても学んだりできるチャレンジです。今回は、1回だけ実施し、振り返りを行いました。

参加者のみなさんが、「研修びらき」の活動を通して、どのような感想や気づきなどがあったか、お伝えします。

【マシュマロチャレンジのルール】

- ・4人1チームで、作戦タイムも含めて18分間で行います。
- ・自立可能で出来るだけ高いタワーを立て、タワーの上にマシュマロを置きます。(パスタに刺してもOK)
- ・テープで足場を固定してはいけません。
- ・パスタやテープ、ひもは切ったり、貼ったりするのはOKです。
- ・マシュマロは切ってはいけません。
- ・計測の最中もタワーが立っていなければ、記録とはなりません。

日本マシュマロチャレンジ協会ホームページより
<http://www.marshmallow-challenge-japan.org>

何事にも土台が大切だと改めて考えさせられた。より高くをめざすあまりに下支えする部分を少し疎かにしていたところがあり、しっかりと立たせることが困難になった。より高みを求めるときは、足下である組織をしっかりと固めることが重要だとの暗示だと思われた。しかし、自分たちの班6人はしっかりとまとまっており、運命共同体としての一体感があって、とても楽しくグループワークができたと思っている。

(中学校教員)



自己紹介では、班がベテランの先生方ばかりだったので、緊張していたが、一番若い人から順にすることにより、思い切って発言できた。また、形式的な自己紹介ではなく、「自分をものに例えるなら」とユニークなものもあったので、見た目からは見えないその人の性格が見えて、とても面白かった。

マシュマロチャレンジは、年代や校種関係なく全員がより良いアイデアはないか考え、発言できた。この活動は、学級内の多様な子どもたちに応用できると感じました。答えのない課題に対して、個々が持っている知識をフル活用し意見を出し合うと、仲間がいるからできたという学級や仲間を尊敬する気持ちを育むことができると実感した。

(大学4年生)

さあ！



みんな打ち解けたところで、待ちに待った菊池先生のご講演です。

講演 テーマ：令和時代のコミュニケーション力あふれる学校を創ろう

講師 教育実践研究家 菊池道場 菊池 省三 さん



山口大学教育学部を卒業された大先輩、菊池省三先生は、2012年7月、NHK人気番組【プロフェッショナル 仕事の流儀】で取り上げられたことをきっかけに全国へ講演をされておられます。テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」、日本テレビ「NEWS ZERO」「世界一受けたい授業」などにも出演されております。ご講演回数は年間200を超える人気講師で、お話を聞きしたいという外部からの問い合わせもたくさんありました。今回はコロナ禍ですので、会場の入場制限もあり、研修プログラム登録者、関係者に限らせていただきました。

以下に、参加者が、先生のご講演から学んだことを振り返りから抜粋し、紹介します。

互いに成長を喜び合えるあったかい学級を創っていくために勉強するぞ！

学級崩壊を立て直すことで有名な菊池先生ですが、今回のご講演から菊池先生の子どもに対する向き合い方を感じることができました。「整」ばかり意識してしまうと子どもたち一人ひとりのよさが失われてしまうということから、一人ひとり違うことを意識してそれぞれの子どもたちをそのまま受け止めようとされている先生の姿がとても印象的でした。もし、子どもがロッカーの上に乗っていたり、授業中に席につかなければ有無を言わず注意をしてしまうかもしれません。ですが、先生は「この子にはこういう思いがある」「この子がここまでできていることはすごいこと」というように、その子の心情や成長に寄り添っておられました。そこで、世間一般の常識やルールに子どもたちを押し込めるのではなく、一人ひとりの成長に寄り添い向き合っていく姿勢が必要なのだと学びました。

また、菊池先生は教師として、子どもに「成長しよう」ということを促していたことも印象的でした。教師としてやるべき仕事は確かにたくさんあるけれど、一番は「子どもの成長を促し助けること」だということ、私も忘れないようにしたいと思います。そのためには、菊池先生の「価値語」などのように、まず教師が「こんな風にすることが良いことだよ」と教えることが必要なのだろうと思います。そして子どもたちのそのような姿を見つけたら適切に褒めること、さらには教師だけではなく子ども同士でも褒め合う環境をつくることで、お互いの成長を喜び合える空気をつくるのが、一人ひとりの成長につながるのだろうなと思いました。私もクラス全体で一人ひとりの成長を喜び合えるような、あったかい学級をつくることのできるようにもっと勉強していきます。(大学4年生)

プラスの循環はどこでも創造できるんだ！

学校はプラスの循環を創る土壌を培う場なんだ！

菊池先生の講演の中で、教師が誉めることでプラスの循環が起こるという内容が印象に残りました。私自身飲食店でアルバイトとして働いている時に、「いらっしゃいませ！」と大きな声でお客様をお迎えするとお帰りの時に「ご馳走様でした」と多くの方が声をかけてくれます。+なことをすれば、+が返ってくる。良いことでクラスが溢れかえり、良い雰囲気になるように、教師が土壌づくりをする大切さを学ぶことができました。(大学4年生)

子どもを一人の人間として「尊敬する」という姿勢で、私なりに取り組みます！

「子どもを尊重する」ではなく、「尊敬する」という言葉が、とてもストンと自分の中に落ちました。

今まで、教育実習やチューター活動等で小学校に行かせていただいて、自分が「先生」と呼ばれる立場であることの意識や責任をもつと共に、この子たちのほうが自分よりも長けているなあすごいなあと感心させられることは様々な場面で多くありました。そのため、どこまで「先生として教える」という気持ちで接していいものなのか、接するべきなのだろうかと漠然と自分の中で少しモヤモヤするところがありました。

けれど、このモヤモヤは「子どもを尊重する」という言い回しの中に、「先生が上」「先生があくまでも主で教える人」というニュアンスが隠れていたからかもしれないと気づくことができました。これからは、「子どもを一人の同じ人間として尊敬する」という見方で、子どもたちに学ばせてもらうことも大切にしながら、一生懸命私なりに先生として頑張っていけばいいんだという気持ちで4月から励んでいきたいです。(大学4年生)

自分の根底にある思いを再確認できてやる気が増した！ 参考になることがたくさん！

菊池先生の話は共感が多くありました。同時に「自分の心の中に菊池先生のように子どもを大切にする、育てる」という価値観がちゃんとある」ということを確認できたこと、それをもとにやる気が増したのを感じたこと、このことが大きかったです。多分参加者の多くが同じ思いをしたのではないのでしょうか。

また研修中の参加者の安全性、安心感が担保されており、これは研修を進める上でも非常に参考になりました。ペアトークの最初の口火の切り方を示す、わからないときは「私も同じ考えだったの～」で誤魔化すなどこれは即使えます。(笑) (小学校教員)

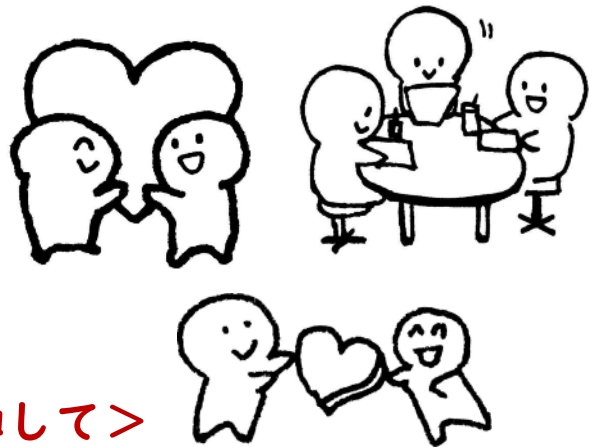
菊池先生のご講演を振り返る～リフレクション～

もっともっと語り合う時間がほしかった参加者が多かったはずですが、あっという間に、閉会行事の時間になってしまいました。時間が足りなかった分は、職場や大学の参加していないメンバーに伝えたり、コーホートのメンバーに会った時に、またそのことについて語り合ったりしてくださいね。

今回の菊池先生のご講演で、温かい空気が醸成された空間の中で振り返りをすると、自分事として話ができるということを感じました。経験年数や立場の違いから、同じお話を聞いても感じるどころや引っかかるところが違い、それがそれぞれの人の背景であるということ再認識できたところが学びでした。
(小学校教員)

「菊池先生は自分に軸をもっている」という感想が多く出ていたことが印象的でした。私は菊池先生の子どもに対する温かさや心の広さが特に印象に残ったけれど、別の人が同じ内容を聞くと心に響くことはそれぞれ異なるのだなと感じました。だからこそ、同じお話を聞いた後にこのようにして感想を共有し合うことが大事なのだろうと思うし、学校現場でも意識していきたいです。
(大学4年生)

初めは緊張をしていたと思いますが、リフレクションのときには、菊池先生の講演の熱気そのままにみんな笑顔で話をしていたなと感じました。場の雰囲気をつくり上げることもお互いに話をしやすくする一つの要素だと感じるのと同時に、世代を超えた人とのかわりには、自分が日頃感じていない感情の発見にも役立つのだと思いました。同じ教職という共通の場にいる者、目指している者をつなぐことができる機会になった交流だったと感じました。
(特別支援学校教員)



<コーホートに参加して>

今回のコーホート研修会に参加して感じたことは、学部生の行動力がすごいということです。私は学部生の時は参加していなかったですし、私は知らないことを、学部生は知っていました。まだまだ勉強しないといけないと感じました。学部生に負けない行動力、教職に対しての情熱、知識をつけていきたいです。
(教職大学院M1)

班の中に、中学時代にお世話になった先生がいました。私も再来年から教員として山口県で働きます。今、その出会いがちゃぶ台であったことに何かの縁を感じました。これからも人との繋がりを大切にしたいです。
(教職大学院M1)

今回のコーホートの中で学部生から現職教員、県教委の方と班で活動をする中でそれぞれがどのような思いで参加しているのか、どのような考えをもって勉強しているのか、学級経営を行っているのか、教育を考えているのかを知ることに繋がったように感じる。参加者の多くが山口大学の卒業生ということで繋がりがあると実感することができた。
(教職大学院M1)

今回は赴任してから初めてのちゃぶ台研修会でしたが、学部や院生の時とは違った視点で参加することができました。現場に出てから分かることや、実践をしているからこそその悩みを共有できる場として、この研修はとても素晴らしいものだ改めて感じました。
(中学校新規採用教員)

毎回のことですが、現職教員として学部生とつながる機会は大変貴重であり、もっともっとこのような機会があればと思います。昨年度に同じグループだった学部生と今回もまた同じグループだったこともあり、休憩時間等もいろいろと質問を受けたり、話したりができました。ここでのつながりを、これからも大切にしたいと思います。
(中学校教員)

次回のテーマは
アンガーマネジメント

(中学校教員)

次回もコーホートで楽しく、真剣に学びましょう！



7/11より
令和4年度登録開始

「コーホート」とは？
「志を同じくする
同世代の仲間たち」
という意味

ちやぶ台次世代 コーホート

若手（20代～30代前半）現職教員（幼小中高特養栄）と
教職志望学生たちが共に学び、楽しみ、創る協働型研修プログラム



「教職」でつながる仲間が、お互いの教育実践や教育に対する思いを、ある時は不安や悩みを、先輩教員、保護者、教育委員会担当者、教育関係者等と共有し、励まし合い、支え合いながら、ある時はワイワイ騒ぎしながら楽しんで歩く。そんな学びと歩みをご一緒しませんか？

～講義演習やワークショップ、協議で学びましょう～

日程・内容・開催場所（予定）

申込（メールで）

- 第1回 10月15日（土）13:00～17:00
@山口市「KDDI維新ホール」
令和時代の学校づくりとコミュニケーション能力
講師 教育実践研究家 菊池道場主 菊池省三
- 第2回 11月5日（土）13:00～17:00
@山口大学教育学部
教師のためのアンガーマネジメント
講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会
アンガーマネジメントインストラクター 山根美代子
- 第3回 12月24日（土）13:00～16:30
@山口市「セントコア山口」
教員としてのことば、表現と基本スキル
講師 アナウンサー（KRY山口放送） 瀬川 嘉
- 第4回 2月11日（土）13:00～17:00
@山口大学教育学部
会員、ゲストプレゼンターの実践発表、研究発表と交流
講師 会員、やまぐち総合教育支援センター長期研修教員等
- 第5回 3月18日（土）13:00～17:00
@山口市「セントコア山口」
人権尊重と共生社会の創造、ネットいじめ
講師 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄
若手教員たちへの期待
講師 周南公立大学経済学部 准教授 大坂 遊

- 件名は、「ちやぶ台次世代コーホート登録申込」とし、
- 本文に、
 - ・所属
教員は学校名・職名、
学生は大学名・学部・コース・選修・学年・希望校種
 - ・氏名
 - ・〒番号、住所、電話番号（連絡が付きやすいもの）、
 - ・Eメールアドレスを書き込み、
事務局のメールアドレスに送って下さい。

<注意>
*山口大学の学生は大学から割り当てられたアドレスを登録してください。
*事務局からのメールが受信できるように設定してください。
*データ受信の容量の関係で、携帯電話のアドレスに届かない場合がありますので、登録アドレスにご留意ください。

コロナ禍ですので、
会場や実施形態は
その時の状況に応じて、
決定します。

事務局：教育学部：藤上 真弓（ふじかみまゆみ） fujikami@yamaguchi-u.ac.jp
質問は、「藤上研究室（教育学部A棟205号室 083-933-5399）」へ

*備考 系統的研修計画によるため、原則的には「継続参加」とします。

